

第37号(平成21年3月)

やっぱり阿弥陀さん

本山だより

今年も本山春の法要が勤まります。
皆様どうぞお参り下さい。

春の法要日程表

4月8日(水)	午前7時	晨 朝
	午前10時	朝 座 御堂説教
	午後2時	昼 座 御堂説教
4月9日(木)	午前7時	晨 朝
	午前10時	朝 座 御堂説教
	午後2時	昼 座 御堂説教
4月10日(金)	午前7時	晨 朝
	午前10時	朝 座 御堂説教
	午後2時	昼 座 御堂説教

- ※4月8日朝座に遷仏法要を厳修します。
- ※4月8日昼座にご親教がございます。
- ※4月9日朝座に第19世准秀上人350回忌法要を厳修します。
- ※法要は各座とも約40分を、御堂説教は各法座とも約30分を予定しています。



真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通り七条上ル
TEL075-371-0075(代)・FAX075-371-8509
ホームページアドレス <http://www.koshoji.or.jp>

霊山本廟の修復に向け動座法要

霊山本廟では、宗祖親鸞聖人750回大遠忌法要に向けての記念事業の一環として、本堂の修復工事が行われています。昨年秋の報恩講終了後にご本尊動座法要を勤修し、ご本尊は本堂より庫裡お内仏に移されました。工事は順調に進められ、平成21年3月17日の春期永代経法要の際、遷仏法要を勤修し、ご本尊に本堂へお戻りいただく予定です。これからも霊山本廟へどうぞお参りください。



昨年秋、楠輪番に大切に抱かれて、ご本尊が動座されました。



ご本尊はお内仏に安置され、ご門主がお参りされました。



法要のあと、立札式が行われ、大遠忌に向けての準備が整いました。

いのち・つながり・よろこび
宗祖親鸞聖人750回大遠忌法要

宗祖親鸞聖人七百五十回大遠忌法要

いのち・つながり・よろこび

今を生きる私の「いのち」は、数多くの「いのち」とのつながりによって、響きあい、そして育まれていきます。しかし、人生の様々な苦悩の闇が深くなっている現代社会では、なかなかそのつながりを実感できないのではないのでしょうか。無量の「いのち」を持つ大いなる存在(仏)から私たち一人ひとりに願いがかけられています。その「願い」を聞き、仏との「つながり」を感じ、仏と共に歩むその時、人生の苦悩に安心して向きあうことができる世界が開けます。

五十年に一度の大遠忌法要が、いよいよあと二年と迫ってきました。本山興正寺では、この法要を迎えるにあたり「ご門主総ご巡化」や「阿弥陀堂の荘厳修復」などを行っております。

このような取り組みは、全てお念仏のみ教えがこの先も絶えることなく続いてほしいという願いのもと行われており、このことを私たちは改めて肝に銘じなければなりません。親鸞聖人は、**前に生れんものは後を導き、後に生れんひとは前を訪へ、連続無窮にして、願はくは休止せざらしめんと欲す。**(先人は後の人を導き育て、後の人は先人を訪ねて教えを請いなさい。教えの伝達が、絶えることなく続くことを願っています。)

とお示しになりました。この大遠忌法要が、阿弥陀仏の本願に出会うご縁となり、いのちはつらなり、生かされて生きていくよろこびを確かめ合う場になればと願っています。

大遠忌法要に向けての取り組み

ご門主総ご巡化

ご門主が直接全国の寺院を巡られる宗門をあげての事業であります「ご門主総ご巡化」は、大遠忌法要を間近に控え、いよいよ大詰めを迎えています。現在までに12道府県、305か寺(平成20年12月9日現在)を終えました。今後も全国各地でご巡化が行われます。お近くのお寺へ、ぜひお参り下さい。



先々の寺院で、ご門徒の皆様と親しく挨拶を交わされるご門主



ご門主自ら、お念仏のよろこびを皆様と分かち合われました。

阿弥陀堂の荘厳修復工事が完了

昨年の春の法要における「ご本尊動座法要」以来、行われてきた阿弥陀堂お荘厳の修復工事も、いよいよ完成を迎えます。今年の春の法要中、4月8日に遷仏法要が厳修され、修復された宮殿へご本尊がお戻りになります。



金箔・漆などが修復され、内陣が輝きを取り戻しました。

大遠忌法要の各期日程

- 第一期 「道を求めて」
四月二十日(水)～四月二十三日(土)
- 第二期 「響きあういのち」
五月二十四日(火)～五月二十六日(木)
- 第三期 「共に歩む」
十月二十五日(火)～十月二十八日(金)
- 第四期 「興隆正法く仏法ひろまれ」
十一月二十五日(金)～十一月二十八日(月)